びに、その他の高校へのPRはどうでしょうか。

A 保健福祉部長　行政側のPRとして、看護学生への奨学金の貸し付け並びに医師の奨学金の貸し付けについては、成東高校や市内の小中学校の校長会において説明をさせていただいているところです。

●土木行政について

Q 富口井之内岡線一級市道で、成東東中学校の手前の信号約500メートルの間がある程度の雨が降った後、道路の排水が悪く、しばらくの期間、水がたまっているのが現状です。排水整備等が必要と思いますが。

排水整備が必要な道路

A 都市建設部長　御指摘の箇所につきましては、排水効果等を考慮しながら、平成24年度以降に実施してまいりたいと思っています。

個人質問

髙橋　忠 議員

●作田川改修工事（日向工区）進捗状況について

Q 進捗状況と今後の工事進行上の問題点は。

A 都市建設部長　用地取得率96・5％、中金ケ谷橋から八反目橋一部区間を除き改修終了。残り区間についても市として、県と地権者、関係者の協力を得ながら進めていく。

Q 県道117号線日向橋架け替え工事進捗は。

A 都市建設部長　橋付近の地権者の協力が得られず、工事は進んでいない。

Q 地域住民の強い要望です。県事業とはいえ、地権者の理解を得るには県任せにせず、市としても地権者の理解を得られるよう努力すべきと考えるが。

A 市長　県と一緒に行動することで少し進むようなことであれば、しっかりと対応します。現実にそのようなことはやっていると承知している。

Q 作田川改修に伴う市道の整備については、整備済みの殿内橋から中金ケ谷橋の間が供用開始されているのか、通学路のため、早急に防犯灯の設置を願いたい。

A 都市建設部長　現在、県と協議している。地元の要望が強かったので供用開始手続きをまたず県が管理運用道路として開放している。

●さんむ医療センターについて（人工透析医療の導入について）

Q 医療の充実のため人工透析医療を導入すべきと思うが。

A 市長　診療科を設置することが経営上可能であることが設置の前提、市としての考えもあるが病院側と十分詰めなければならない問題であろうかと思っている。

●センターの中・長期的な運営方針について

Q ①病院用地の93％余りは借地、平成32年3月でその借地契約も切れる。②病院としての建物の耐用年数は施行規則で40年前後、中病棟は耐震工事済みとはいえ昭和44年の建設で、すでに42～43年が経過。③計画中の東金・九十九里医療センターは平成26年開院を目指し、千葉大医学部と臨床教育センター設置の協定を結び、医師、看護師の確保に動き始めている。このような背景の中、どんな形で医療センターを運用していくのか設置者としての考えを聞きたい。

A 市長　市民は山武市内に公立病院を残す選択をした。せっかく独法としてスタートした、しっかりとした運営を確立して地域に密着した医療で貢献したい。東金・九十九里医療センターができてどのような状況が生まれるか私自身わかっていない。が、保健と医療を総合的に考えていくという戦略は必要だ。さんむ医療センターはほとんどが借地の上に立っている病院で大きな問題だ。病棟も古いものが多い。いずれ建て替え、移転という可能性は否定できないと思っている。設置者としていかに用地を確保するか、病院が建て替えるという方向性を示した場合、協力できるかがポイントとなる。病院の理事長は医療と介護を組み合わせて老健も含めた構想、それも一か所にまとめた病院に建て替えるという方向性をもっている。私ども設置者側もいただいた提案に沿い、様々な要件を考えに入れながら将来を見通したいと思う。

個人質問

小川　一馬 議員

●災害復興及び安全対策について

Q 最新の被害状況と復旧・復興の状況は。

A 総務部長　人的被害は、死亡された方が一人、重症者が一人。道路に亀裂、陥没等があったところは5月末現在、市内全域で128カ所、うち111カ所については応急復旧を終了しているということです。建物被害は、居宅、居宅以外を含めて、全壊44棟、大規模半壊161棟、半壊304棟、床下浸水271棟、一部損壊187棟、合計967棟、液状化の家屋15棟、災害ゴミ、瓦れきの処理量約5千トン、処理費用が3億7千万円。学校、庁舎を含めた公共施設、18施設、4千700万円。

Q 家屋に住めない方、まだ住める状況にな